

小児科学

責任者名：米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)、鈴木 潤一(隣接医学 兼任講師)

学期：前期

対象学年：5年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

石毛 美夏(隣接医学 兼任講師)

鈴木 潤一(口腔外科学Ⅱ 兼任講師)

峯 佑介(隣接医学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

小児の成長や発達を正しく理解するとともに、各種疾患の診断、治療および予防について基本的事項を習得し、歯科医療の一助となることを目的に学修する。

◆到達目標 (SBOs)

歯科診療を行うために必要な小児科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

隣接医学Ⅲ (7教科)

平常試験は「小児科学・耳鼻咽喉科学・眼科学・精神・神経科学」の範囲、定期試験は「皮膚科学・泌尿器科学・産婦人科学」の範囲で判定を行い、両方の試験を総合して各50%により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科学第Ⅱ講座教授室	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。平常試験後にはフィードバックを行う。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅲ (PDF ファイル配付)	日本大学歯学部編	日本大学歯学部	令和5年
プリント	プリント配付			
参考書	小児科学 第3版	大関 武彦 / 近藤 直実編	医学書院	平成20年

参考書	小児疾患診療のための病態生理 改訂5版 1, 2, 3	『小児内科』『小児外科』編集委員会共編	東京医学社	平成26年
-----	--------------------------------	---------------------	-------	-------

◆DP・CP

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-7, 4-8

対応するディプロマ・ポリシー：DP4

コンピテンス5：医療の実践

コンピテンシー：5-2, 5-4, 5-7, 5-9, 5-10

対応するディプロマ・ポリシー：DP5

コンピテンス6：コミュニケーション

コンピテンシー：6-1, 6-2, 6-3, 6-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP6

コンピテンス7：地域社会への貢献

コンピテンシー：7-1, 7-2, 7-3

対応するディプロマ・ポリシー：DP7

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, II

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.4	8	1. 成長発達 1) 概念 2) 身体的成長 3) 成長発達の評価 2. 遺伝病 1) 概念	・小児の成長や発達を正しく評価できるように説明できる。 ・遺伝病を正しく理解し、合併症を説明できる。	石毛 美夏	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

				2) 染色体異常			
2		4.11	8	<p>3. 腎疾患</p> <p>1) 急性糸球体腎炎</p> <p>2) 慢性糸球体腎炎</p> <p>3) ネフローゼ症候群</p> <p>4) 小児腎疾患と歯科治療</p> <p>4. アレルギー疾患</p> <p>1) 食物アレルギー</p> <p>2) 薬物アレルギー</p> <p>3) 気管支喘息</p> <p>4) アナフィラキシー</p>	<p>・小児の腎疾患の病態、予後、治療について説明できる。</p> <p>・小児腎疾患と歯科治療との関連について説明できる。</p> <p>・種々のアレルギーの病態を理解し、治療を学び説明できる。</p>	石毛 美夏	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
3		4.18	8	<p>5. 栄養・代謝疾患</p> <p>1) 糖尿病</p> <p>2) 低血糖</p> <p>3) アセトン血性嘔吐症</p> <p>6. 内分泌疾患</p> <p>1) 下垂体疾患</p> <p>2) 甲状腺疾患</p> <p>3) 副腎疾患</p> <p>4) 性腺疾患</p>	<p>・栄養・代謝性疾患の病態と治療を説明できる。</p> <p>・小児期に特有な疾患頻度の高い疾患を説明できる。</p> <p>・各種ホルモンの作用機序を把握し、身体の中での役割を正しく説明できる。</p>	鈴木 潤一 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		4.25	8	<p>7. 感染症</p> <p>1) 麻疹</p> <p>2) 風疹</p> <p>3) 水痘</p> <p>4) インフルエンザ</p> <p>5) 流行性耳下腺炎</p> <p>6) 溶連菌感染症</p> <p>8. 精神神経疾患</p> <p>1) てんかんと熱性痙攣</p> <p>2) 精神運動発達遅</p>	<p>・小児の主要感染症とその臨床的特徴と治療を説明できる。</p> <p>・小児の痙攣疾患を説明できる。</p> <p>・精神運動発達遅滞について説明できる。</p>	峯 佑介	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

				滞			
5		5.2	8	<p>9. 血液疾患</p> <p>1) 白血病</p> <p>2) 悪性リンパ腫</p> <p>3) 血小板減少性紫斑病</p> <p>4) 血液凝固異常症</p> <p>10. 循環器疾患</p> <p>1) 先天性心疾患</p> <p>2) 後天性心疾患</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小児期に特有な疾患頻度の高い血液・循環器疾患を説明できる。 ・血液疾患を把握し、病態と治療を説明できる。 ・循環器疾患を把握し、病態と治療を説明できる。 ・小児血液、循環器疾患と歯科治療との関連について説明できる。 	峯 佑介	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
		6.12	6	平常試験		米原 啓之	

